



第1号／創刊号

でみる
小布施



IRON
CROW

TAKE FREE



「あ」でみる小布施。

CONTENTS

- 04 「あ」からはじまる小布施町、おしえてください。
- 06 ア・ラ・小布施 -移住支援コーディネーター 勝亦 達夫-
- 08 あそび人 -小林 秀樹-
- 12 あきかさん
- 13 穴観音
- 14 特集 小布施アイス図鑑
- 16 アイアンクロウ スケートビレッジ
- 17 アンティークアクセサリー -La Bibeloterie-
- 18 朝市 -栗どっこ市-
- 19 オブセにナンカ妖怪
- 20 おばあちゃんの背中
- 22 編集後記



ゆうな 同時開催 写真展 汐凪を探して

3.11 東北を襲った東日本大震災。2014年3月、全国の犠牲者は死者1万5884人、行方不明者2633人に上る。大津波にのまれた不明者の捜索は今なお続く。

原発からほど近い福島県大熊町で震災後行方不明である少女、汐凪の命が輝き続ける、穏やかで優しい写真展です。



Ever Green Snap Contest

* イベント当日、あなたが切り取った Ever Green "色褪せない" 思い出を写真または動画に残しませんか？優秀者3名には、素敵なプレゼントをお送りします！

ぜひ、カメラを
ご持参ください！

* お送り、送って頂いた写真・動画は、後日削除する場合があります。



「あ」からはじまる小布施町、おしゃてください。



number.01
あ

・ら・おぶせ [ア・ラ・小布施]

小布施町・中町



キーワードは「小布施風に、小布施流に」。
はじめましての小布施はア・ラ・小布施から。
そして、より深く楽しむ小布施もア・ラ・小布施から。

小 布施のメインストリート

の入り口、中町南の交差点にあるア・ラ・小布施。「おぶせガイドセンター」の看板を掲げ、表向きは観光案内所・カフェ・地元の特産品の販売所・ゲストハウスの複合施設というたたずまいになっています。これだけでも充分すぎるくらいに観光の拠点として充実したスポットなのです。勝亦さんは「確かに、表向きでわかりやすく目に見えている部分で言うとホテルと喫茶とガイドの会社ってなるんですけど、本来はプラスの事業をやるためにまちづくり会社なんですね」と話します。

小布施丸なすの復活プロジェクトや8月の開催で15回目の開催を迎えた小布施音楽祭のほか、子育て英会話教室や郷土史講座など、喫茶プラ

スのカルチャースタジオ「ア・ラ・カルチャード」、さらに農村シェアオフィスの運営など、小布施を訪れる人だけでなく、そこに暮らしている人も一緒になって街と関わっていくことができるさまざまなプロジェクトをア・ラ・小布施が主体となつて発信しています。ア・ラ・小布施の幅広い事業活動の秘密は、その成立形態と表向きでわかりやすく目に見えている部分で言うとホテルと喫茶とガイドの会社ってなるんですけど、本来はプラスの事業をやるためにまちづくり会社なんですね」と話します。

「第三セクターの株式会社として出資者を募り、経済活動で得た利益配当は行わず、その資金を地域活動に還元するという形を取っています。ア・ラ・

小布施に限らず、小布施にある企業の多くが同じように「街そのものを大切にしていく」という姿勢を持っていると思います(勝亦さん)」

有志の出資により株式会社が立ち上がり、それぞれがそれぞの得意な分野で事業を展開し、得た利益はまたまちづくりの事業に反映させていく、というエコサイクルによって、まちを活性化させようとしています。今後のア・ラ・小布施の展望についても勝亦さんにうかがいました。

「定住促進のためには、住宅を紹介したり仕事を斡旋することも必要なことだと考えていますが、それ以上に、どうすればまちが生き生きとした形で継続していくか、内の人も外から来たら参加できるかを常に意識しています。今も現行進行形でア・ラ・小布施からどんどん新しい事業が生まれてきています。農家さんと協力して小布施の野菜を通信販売する計画や、地域ギフトとして商品をパッケージングして売り出す構想もあります。また、今はシェアースベース、場所貸しにも力を入れています。ゲストハウス前のス



1.大学の研究室という形で小布施と関わり始め、学生時代から実践的な提案を街に対して行い、形にしてきた勝亦さん。2.ガイドセンターの取材に応じてきました。3.ガイドセンター内の喫茶スペース。カフェ営業、特産品の販売にとどまらず、シェアスペースとして夜はバーになることもあります。4.土蔵を再生して作られたゲストハウスは全4部屋。「コミュニケーションツール」として位置づけられ、小布施を訪れる人に快適な空間を提供しています。5.緑に囲まれたゲストハウスの入口。街の中心街にもかかわらず、喧騒からは一歩離れた静かな空気が漂います。



株式会社 ア・ラ・小布施
小布施町小布施789
026-247-5050
9:00~17:00
<http://www.ala-obuse.com/>

ベースで野外音楽フェスを開いたり、ガイドセンター内の喫茶スペースをバーやミニコンサートの会場に使ってもらったり。『こういうことをやりたい』とう人が集まつて、そこで交流が生まれてまた新たな動きや仕事が生まれてくる。シェアスペースはそんな可能性も秘めていると思います」

「旬」の小布施の動きが肌感覚でわかるア・ラ・小布施。今日も文化発信の拠点という役割をしっかりと果たし、喫茶スペースではゲストハウスのお客さんが観光情報をチェックし、街の住民がカウンターで本を読みながらコーヒーを飲み、2階からは子どもたちの元気な声が聞こえてきています。

小布施フリートーク、小林秀樹の場合。

ちょっとラフに言うならば「小布施が今、ヤバい」。

旧来の小布施のイメージでは收まらない面白い刺激的な小布施の道筋で発展をはじめているのです。

そこで、今の小布施を熱くする仕掛け人、小林秀樹さんに登場してもらいますー

「いろいろなところで『遊び人』って言われるんだよね」と話す小林さん。
その辺にまかせた、たゞの遊び人にはじめら、イキモト・シナ・コロナの
かぶきもの。 かぶきもの。

インタビュー中、次から次へと溢れ出るアイデアはまるで洪水。

怒濶のよくなアイテムを片端からガタチにしていいぢやう小林さん

どっちも最高だと思いません？

それでは飲み込まれてください」と小林さんのアイテ「洪水にし

A full-body portrait of a man with dark hair and a mustache. He is wearing a black, short-sleeved t-shirt with the word "NORTH" printed in large, white, sans-serif capital letters across the chest. He is also wearing white, knee-length shorts. A pair of sunglasses hangs from the neckline of his t-shirt. He is standing with his arms crossed. The background is a solid, dark color.

なによりますは、
自分が『楽しい』って思えること

小布施ノイヴュオアシア内の小布施ハイウェイミュージアムをリノベーションし、2014年7月にオープンしたボルダリングジム・カフェ・木工スペースの複合施設「小布施オーブンオアシス」。そして、高井鴻山記念館で毎年夏に開催されている「本気過ぎ」

「何かを仕掛ける」のが
好きなのかも知れない

届託なく話す小林さん。子どもの頃から、そのアイデアとイベント企画力は、今でも止まらない。

「もう生まれながらにして『何かをやろ

う』って思つたら形にするのは早かつ

たよね 小学生の頃からガシガを捕ま

には学校履きの仕入れみたいなことを

やつたりとか（編注・どちらも『そこ

そこ儲かってた』ぞうです)『何かを仕

もともと。なにかアイデアが出てくる

とそれを書く。書いてみると作りたく

なる。それでみると売ってみんなに広めにねらう。それで、見るところによると



(上) 小布施オーブンオアシス内のボルダリング施設。オープントから新聞やテレビ等のメディアの取材も続き、連日大勢のお客さんでにぎわっています。初めてのお子さまでも安心して楽しめる、スタッフのホスピタリティも人気の一因。(下) 「夏だ! 小布施だ! SPLASH-GOKART」の模様。記念Tシャツプレゼント、オリジナル小布施カレーの販売など競技以外のお楽しみも満載の一日でした。

『妖怪夜会』の告知ポスター。今年も大盛況で、小林さん曰く「小布施の子どもがみんな来てたんじゃないのってくらいの賑わいだった(笑)」とのこと。ちなみに本年の妖怪は総勢34名。妖怪＆お化けからダース・ベイダーまで幅広いラインナップで来場者を驚かせていました。

小林秀樹 Hideki Kobayashi
1974年8月6日生まれ、小布施在住。アイアンクロウ代表としてスノーボード遊具の開発の傍ら、各種イベント、スポーツ施設等の企画を行う。



アーユルヴェーダとは

5000年前から伝わるインドの伝統医学

生命の科学 心身の健康を保つ健康法

スリランカのドクターオイルを使って、バランスを整えるオイルマッサージです。
しっかりとカウンセリングにより個人の体質と気質をチェックします。

アーユルヴェーダサロン クリシュナ

上高井郡小布施町大字小布施2277
TEL/050-3368-4545
TIME 10:00~18:00 (日・月曜日定休)
<http://krishna-obuse.jimdo.com/>
<https://www.facebook.com/komorabikirara>



く見せる必要があつて、良く見せるためにはイベントだ、と。一緒にみんなで何かをやるとさ、それをまた別の人間に話したくなるじゃない?『こんな面白いことをしたんだよ!』って。でそれが宣伝になつてどんどん広がつていくつていうかね』

小林秀樹の 小布施未来図

(左上)これが「小林秀樹の小布施未発図」。ベニヤ板に小林さんが書いたものを拾い上げてまとめるところなんだ。ただの図ではなく本当に実現しそうな感じで見えてしまうところが小林さんマジックかと。小布施でヤギ、見たくなります。(左下)近くの所の子どもたちと遊んでいたというハンドメイドの鉛筆。小布施コーナーオアシスのイメージ図にいつも自分で描き起こしたりと、自分のアイディアで様々な方法で「見える化」していくところも小林さんの「夢を現実にする力」の秘訣の一つのかなあと思わせます。



【最初から「小布施のためにになにかをしよう』って思つて いるわけではな
くって、自分が楽しいって思えること
を街と一緒になつてやつて いるつて感
じだよね。それが結果、小布施のため
になるなら それはそれでいいことだと
思うしね】

を名物にするのも面白いかも。栗のまち、花のまち、北斎のまち、それだけじゃなく、もつといろんな楽しいことがギュッと凝縮した街になつてくといよね。で、ゆくゆくはね、考へてるのはカジノ。高井鴻山記念館の地下を使つて。いろんな人に『何言つてんだコイツ』って言われちゃうけど、それって絶対面白いよな、つて思うんだよね』

荒唐無稽に見えて、それでも独りよがりにならず、周りの人を巻き込みながらみんなで何かしよう、というエネルギーとバイタリティに満ちあふれた小林さん。



「あきかさん? ああ、あのね、公会堂の横にあるやつがそれだよ。」
コトの発端は、小布施の市街地のいろんなところにある、「物語ボックス」と呼ばれる紙芝居。この「あきかさん」、毎年三月には祭祀が開かれるようで、我こそは

堂の横にあるやつがそれだよ。」
紙芝居から始まる、駅近謎解き散歩。

「あきかさん? あきかさん。」
秋葉権現、秋葉さん、あきかさん。
紙芝居から始まる、駅近謎解き散歩。

「あきかさん? あきかさん。」
秋葉権現、秋葉さん、あきかさん。
紙芝居から始まる、駅近謎解き散歩。

number.04 あきかさん

小布施町・横町

栗が丘小学校のすぐそばの交番のところにある紙芝居のタイトルは「あきかさん」。

火難除けの神として知られる「秋葉権現」が小布施では親しみをこめてか「あきかさん」。紙芝居では町内の横町地区を火災から救つたとい

うお話になっていますが、さてさて、

町の方々にその所在をお尋ねして

も、紙芝居は知っているけれど、ホ

ントのところ、どこに「あきかさん」

があるのかは知らない、という方が

多い様子。色々なつてをたどって捜

索を進め、ようやく巡り会えた横町

の事情に詳しい方に伺うと、当たり

前のように冒頭のセリフ。

教わった通りに住宅街の道を走るすると抜けていくと、ありました、横町の公会堂の脇にひつそりと。

ようやく巡り会えた「あきかさん」。正直なところ、うーん、これが?

でも、こじんまりとして身近に感じられるからこそ人々に親しみをもつて愛されて「あきかさん」のものがたりが生まれたのかも知れません。

この「あきかさん」、毎年三月には祭祀が開かれるようで、我こそは

紙芝居でどうぞ。



全5枚の紙芝居。あっという間に読めちゃいますのであきかさん訪問とあわせてお楽しみを。



民家に囲まれひっそりとたたずむ「あきかさん」。訪問時、物語のように風が吹いてくるかもしません。

number.03 あなかんのん【穴観音】

小布施町・雁田

田山の麓、おぶせ温泉の横にある、ささやかな山門から右へと折っていく細い登り道。山門の扁額に記された木彫りの「雁田山穴観音」の文字に誘われるように、草に囲まれた細い階段を数分ほど登っていくと、山麓のまちなみを見渡せる高台の岩壁に掘られたらしい小さなお堂にたどり着きます。

この穴観音、さまざまな言い伝えとともに長い時間、ずっとと、ここにたたずんでいます。信濃源氏の妻子が越後に逃げゆく折にこの岩窟で一夜を過ごした、とか、高井郡に配流された福島正則公が観音菩薩を安置した、とか、

キリストン信徒がマリア観音を密かに祀っていた、とか。

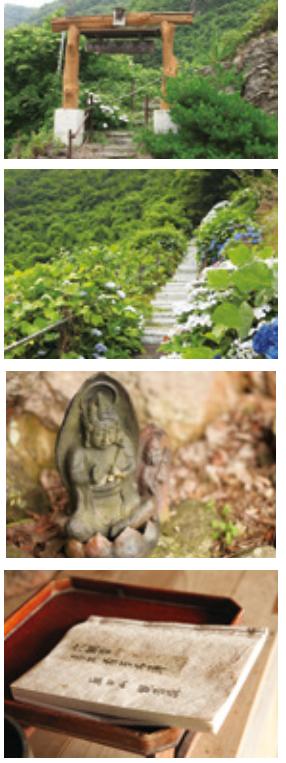
草いきれに満ち満ちている登り道、苔むした道祖神、古びた芳名帳、眼前に広がる景色、そしてそこに込められた、時間を越えて人々が語り継いできた「ものがたり」。街のにぎわいから離れ、おとぎ話のような不思議な時間と空間にたたずんでみるのも良いかも知れません。

ここでふう、と一息ついたなら、さて、温泉へ。

(もちろん、ひとつ風呂浴びたあととの散策にも良いかと)



ずっと、ひっそり、そしてささやかに。
歴史と眺めにひたる秘密のスポット。



⑥ 桜井甘精堂 カフェ茶蔵
「モンブランソフトクリーム」
350円(税込)

栗ペーストを混ぜ込んだソフトクリームの上に栗の木テラスのモンブランをトッピング。栗そのものの味わいはもちろん、風味のバリエーションまで楽しめちゃいます。こだわりのコーンも是非楽しんで!

●長野県上高井郡小布施町大字小布施中町779 / ☎ 026-247-5601 / 9時~16時(冬季休業)

⑦ 小布施屋

「ダブル(牛乳/栗)」370円(税込)
新鮮な地元の牛乳をベースに小布施町特産のチェリーキッスやプラムリーを使用した小布施屋独自のジェラートをお楽しみいただけます。

●長野県上高井郡小布施町大字中松 496-1
6次産業センター内 / ☎ 026-242-6600 (6次産業センター) / 10時~16時(土日17時)



④ 㐂なり旬粋
「栗とマロンクリーム・マロンアイス」「スノーアイス 栗と黒みつ」
530円/480円(税込)

クレープ生地は信州産米粉100%。もちもちした食感がマロンアイスにとっても良く合います。ちょっと和風の味わいと独特の食感がやみつきになる栗と黒みつのスノーアイスも是非!

●長野県上高井郡小布施町小布施上町西側977 / ☎ 026-247-6780 / 10時~16時



#06



#04



③ 竹風堂

「栗あんソフトクリーム」300円(税込)
上質な乳脂肪となめらかな純栗あんにこだわり、15年以上も人気を保ち続ける小布施の名物ソフトクリーム。一口食べると濃厚な栗あんの風味が口の中いっぱいにふんわりやさしく広がります。

●長野県上高井郡小布施町973 / ☎ 026-247-2569 / 9時~18時

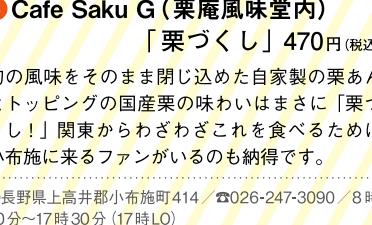


#05

⑤ Cafe Saku G(栗庵風味堂内)
「栗づくし」470円(税込)

旬の風味をそのまま閉じ込めた自家製の栗あんとトッピングの国産栗の味わいはまさに「栗づくし!」関東からわざわざこれを食べるためには小布施に来るファンがいるのも納得です。

●長野県上高井郡小布施町414 / ☎ 026-247-3090 / 8時30分~17時30分(17時LO)



number.05



あ いすくりーむ

【アイスクリーム】

小布施アイス図鑑

これであなたも
小布施アイス博士

知っていますか? 小布施にこんなにもアイスを扱う名店がひしめきあっていることを。一挙紹介、小布施アイス図鑑です! あのアイスからこのアイス、食べ歩いて味くらべなんていかがでしょうか。



#01

① 小布施堂 傘風樓

「栗アイス」350円(税込)

大粒の栗が次から次へとアイスの中から現れてくる贅沢な味わい。アイスの素材には小布施産牛乳と卵を使用。そのこだわりはまさに元祖、「まるごと小布施!」な一品です。

●長野県上高井郡小布施町808 / ☎ 026-247-1113 / 9時~17時



#02



#03

② エルバート
「ダブル(牛乳/生チョコ)」

400円(税込)

「コクがあって、あと味すっきりさわやかなアイス」を追求し続けて20年! 季節ごとの旬の果物も含めた16種類以上のラインナップはアイス専門店ならでは!

●長野県上高井郡小布施町栗が丘220-5 / ☎ 026-247-3269 / 10時~18時30分/水曜定休

あ

すけーとびれつじ

アイアンクロウ
スケートビレッジ
小布施町・都住



スケートボードが好きだったら
誰でもオーケー！

アツくてユルい「オブセ横乗り系」
スタイルの発信拠点。

道430号線沿い、都住にあるスケートボード施設のアイアンクロウスケートビレッジ。ランプと呼ばれる斜面の上部に立ち、かわるがわる自分の呼吸でドロップインしていくスケートボーダーたち。常連さんも初めてここに足を運んだ人も和気あいあいと会話を交わし、それぞれのトリックに自然に声がかかります。『初心者から上級者まで気軽に来れるスケートパーク』というコンセプトはオープン時からずっとブレずに持ち続けています。スタッフの手が空いてればその場でくつと無料レッスンも行いますし、全く初

めての人のためにスケートボードを貸し出したりもします。ランプにはロープも備えあり、それぞれのレベルに合わせてスケルを磨いていくことができますよ！（スタッフ・下平さん）

アツイックなアツさとオーブンなユルさが不思議と調和し、レベルを問わず女性やキッズも含めて「スケートボードが好きなら誰でもオーケー！」のウェルカムな雰囲気。これもひとつ「小布施スタイル」ですね。



あんていーく あくせさりー

アンティーク
アクセサリー

小布施町・伊勢町

ヨーロッパ、オブセ、蚤の市。

一人の女性と

アンティークアクセサリーの
ものがたり。

例
えば、こんな物語を想像してみてください
さい。「歴史のある街に、アクセサリー
が大好きなひとりの女性が小さなお店を出
しました。古い倉庫を改装したそのお店に
はヨーロッパのアンティークのアクセサリー
が並び、そのアクセサリーたちはその女性
がパリの蚤の市で集めた素材を使ってひとつ
ひとつ丁寧に作りあげたもの。落ち着いた
音楽と心地良いアロマの香りが流れる店
内。ある時はお客様が自分に似合うアクセ
サリーをにこにこしながら選び、またある
時はアクセサリー作家さんが自分の作品の
素材を真剣な眼差しで品定めしています。」
そんなお店があつたら素敵だなあ、と思
う女性の方、多いのではないでしょうか。う
ん、古いヨーロッパの映画か、絵本みたいな
お話ですよね。実はこのお話、現在進行形
で実際にある物語なんです。舞台は小布施
にあるラ・ビブロトリーというお店。
「初めてパリに行った時に、アンティークの
素材に魅了されました」と話すオーナーの古
川さん。小布施の町並みにじみつ気分は
まるでヨーロッパの小物屋さんいるかのよ
う。「自分だけの宝物」を探しに、物語の世
界に入りこんでみてはいかがでしょうか。



「気軽に使ってほしいから（古川さん）と話す
とおりに価格帯は抑えめ。日常使いの素敵な
アクセサリーを手探し気分で見つけてみては。



店内の装飾や家具も古川さんがひとつひとつ丁寧に選んだもの。古川さんのハンドメイドのアクセサリーはもちろん、アンティークのバーツ類も充実しています。

La Bibeloterie
(ラ・ビブロトリー)

小布施町大字小布施 734-3
050-5551-6066
10:00~16:00(4~11月は
17:00まで) 火曜・水曜定休
<http://labibeloterie.com/> (ネットショップあり)



古川さんの新作アクセサリー。「オーダー^{メイド}ももちろん受け付けています。県外から足を運んでくださるお客様も多
くいらっしゃいますね（古川さん）」



アイアンクロウ
スケートビレッジ

長野県上高井郡小布施町
大字都住 1127
090-8893-1982
9:00~21:00
1日利用料金: 500円



あ

さいち【朝市】

小布施町・上町



「切り株に腰掛けちょっとひとやすみ、
そんな気分で日曜朝のお買い物。」



オブセに 妖怪

其の一

朝

比奈道人



おばあちゃんの背中

vol.1 畑上静子さん(73才)のニラせんべい

おばあちゃんのお手製料理のレシピをお宅訪問取材、調理中のライブレポートとともに紹介する『おばあちゃんの背中』、初回は畠上静子さんのニラせんべい。それぞれの家庭の味がある北信クラシックのこの一品、畠上家のレシピはこんな感じ。思い出話やおこぼれ話とともにゆったり楽しんでくださいっ！

こ

の日迎えてくれたのは土蔵に繋がれたビーグル犬のダッフィー君。ブンブン振り回すシッポは歓迎の証：めっちゃ吠えられるけど…)

「どうぞ上がり下さい」の声は畠上

静子さん、本人。小柄でショートカット、人柄がにじみ出る笑顔、花柄のエプロンと頭には手ぬぐい。準備万端のご様子。どうやら下準備を済ませようとした静子さんを娘さんが止めてくれたそうで…あぶないあぶない…ではさつそくキッチンへ…

東の窓からの日差しをたくさん吸い込んだキッチンは照明が無くても充分明るい…手際よく準備を進めながら「レシピなんか無いんだよ」と静子さん。いいんです…既にレシピが存在するとこの企画、8割方無意味なものに…

「昔は、おこびれといえばニラせんべいだったねー」
※ちなみにおこびれとはおやつの事…
まずはボールで卵を溶く。地粉と砂糖を入れ3cmほどの長さに切ったニラ

を投入。さらに牛乳を量り入れたところを出ました静子マジック！みじん切り

した「野沢菜の味噌漬け」と3cm程に短冊切りにした「小布施丸ナス」。

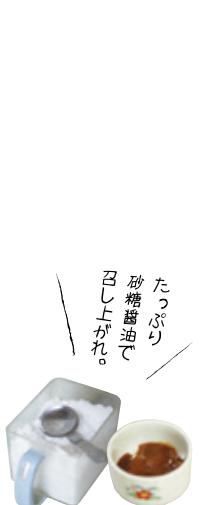
※ナスはあらかじめ水にさらしてあく抜き済み…

「農家だから、こびれは畑で採れたものでなんとかしてたね」

ずっと大家族だったという静子さん。24歳でお嫁に来てから今日までとにかく無我夢中。同じ農家に嫁ぎ、ともに野菜を売ってきた仲間がいたから頑張れたと言う…

菜箸でよく混ぜ合わせているところで一瞬何かを投入。隠し味？見逃した！慌てて確認したらただの水…どうやら水気が足りなかつたようで、このへん野菜を売ってきた仲間がいたから頑張ったと言つ…

だから」と言つ…



焼き具合は焦げ目がつくくらいを目安に。

お腹が満たされ思い出す。謎を解明しないと帰れない…その不思議な被り物を見せてもらうと、手ぬぐいを縫い合わせゴムを通して…なんとシンプル、されどこれまた静子マジック！

畠上家に嫁いだ時は、3世帯7人家族。大きいやあちゃんと小さいやあちゃん…時代が時代だけにさぞかし大変

フライパンを熱し、油をひいて焼いていく。焦げ目がついたらひっくり返す。バチバチ美味しいそうな音と良い香り。焼きあがつたらキッチンペーパーに並べていく…そんな後姿を見ていると不思議な被り物に目が止まる…手ぬぐいを巻いているだけにしては結び目が見えない…なんだこれは…とにかく気になる…そして似合う…（いかんいかん料理に集中…）

気がつけばもう完成。そのまま味噌漬けの塩気で食べるもよし、砂糖醤油をつけて食べるもよし。もちもちの食感にしんなりしたナスやニラがベストマッチ、うまい！

ニラせんべい(4人分)	
・ニラ	150g
・小布施丸ナス	1個
・野沢菜の味噌漬け	70g
・たまご	1個
・牛乳	200CC
・地粉	250g
・砂糖	大3杯
・水	120CC

レシピ紹介



明るく機能的な畠上家のキッチンと静子さん。



For the all of "Outdoor lovers"
in the world.

ふれぜんと

今号で取材した全てのもの・人・お店に訪れ、証拠写真を送ってくださった方、先着3名様に「あ」のつく、小布施町の何かいいものをプレゼントいたします。
※小林秀樹さんとは2ショット写真を撮り、アイスクリームは紹介したものを全て食べることが条件。

応募先
aиеобусе@gmail.com
締切:「い」号発行日まで

ふるって
かんたん募くじさい★

ぼしゅうちゅう!!

「あいうえおぶせ」を置いてくださる方
「あいうえおぶせ」に協賛してくださる方
「あいうえおぶせ」に広告を出してくださる方
を大募集しております。「い」号を発行するためには
みなさんのお力が必要です。

どうが

P4・5 の取材の様子を動画で紹介中！撮影・編集
はLODE Filmです。映像が必要な際は下記まで！

ここから
チェック!!



栗の映像撮りませんか？



LODE Film
local design film

映像・Web制作
空撮・デザイン

TEL. 090-9358-4819 / Mail. takefushiyuki@gmail.com

へんしゅうこうき

「出身は小布施です」そう言うと必ず「いいところですね！」と返ってくる。その意味が最近、わかるようになりました。
『あいうえおぶせ』を通じて出会った人、協力してくれた人、みんな最高でとっても素敵な人ばかり。それだからもっと、もっと紹介したくなっちゃう。小布施にはこんなに面白い人がいっぱいいるんですよって。観光地だけじゃない、小布施の魅力をもっと知ってほしい。
「い」ではどんな人や犬に出会えるんだろう。今からとてもわくわくしています。(編集かわうそ)

創刊にあたりご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました！

昨年の冬、雪のちらつく頃に創刊を決意し、桜の頃には決まりかけていた企画を全部くつがえし、梅雨の頃には自分たちが楽しいと思うところに立ち返り、夏の暑さとともに取材に励み、秋の涼しさの中、めでたく創刊号の発行となりました。いろんな人のいろんな思いがつまった『あいうえおぶせ』。いっしき小布施の名物として、当たり前にまちの中にとけ込む存在になれればな、と思います。(編集M)

あいうえおぶせ 第1号／創刊号「あ」でみる小布施

発行日／2014年10月25日

編集・発行



<http://www.aиеобусе.net> がんばって準備中

<http://www.facebook.com/aиеобусе> (Facebook)

おばあちゃんの背中 取材・文協力

松澤ゆかり (ICHI cafe)

オブセにナンカ妖怪 取材・イラスト・写真協力

妖怪俱楽部のみなさま

写真協力 (P4・5)

竹節友樹 (LODE Film) 畔上広行 (LODE Film)

動画撮影・編集

竹節友樹 (LODE Film)

お問い合わせ

▲▲ MOUNTAIN DRIVE lab. (マウンテンドライブ ラボ)

あいうえおぶせ編集部 aиеобусе@gmail.com

次号は…



次は「い」で始まる小布施。来年春の刊行に向け、現在の編集部はノープラン真っ盛り。「い」って言ったら「犬」？「い」って言ったら「石」？とそんな感じで迷走も甚だしく。土壇場に強い「あいうえおぶせ」、次号もご期待ください！

あ
す
は
満
月
、
き
よ
う
は
美
菓
月
。

栗あんのしあわせな味わいかた、ふたつ。
小布施の夜空を見上げた折に、
ふっと思い出してみてください。
まんまるお月さまなら、栗どらやき。
すこしお欠けたお月さまなら、美菓月。
きょうも誰かのほっぺたに、
やさしい甘さがひろがります。

信州小布施で栗菓子二百年
桜井 甘精堂